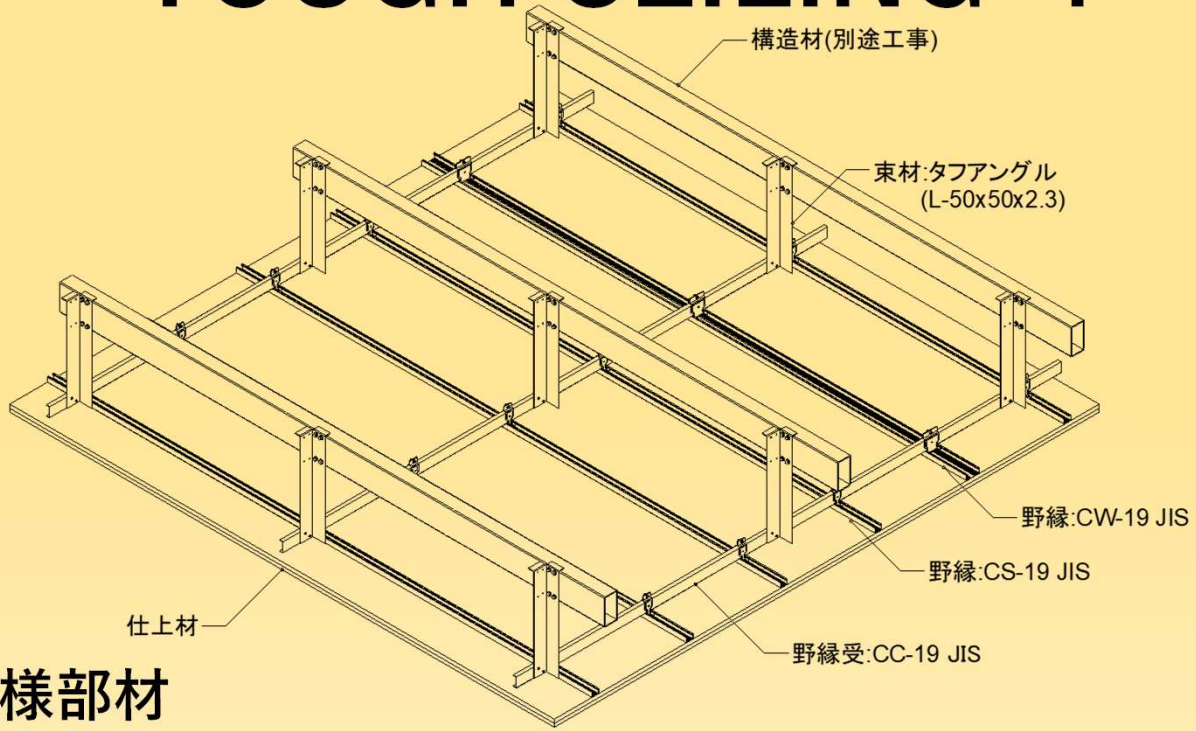

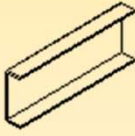
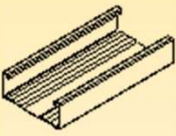
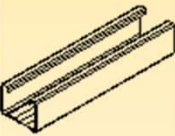
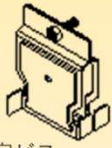
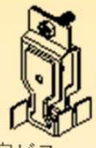
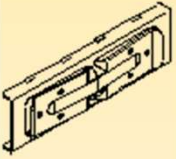


TOUGH CEILING 4



仕様部材

タフアングル	CC-19 JIS	CW-19 JIS	CS-19 JIS	TC-W	TC-S	TC3-CJ
						
L-50×50×2.3	t=1.2	t=0.5	t=0.5	固定ビス M5×30 t=1.2	固定ビス M5×30 t=1.2	t=1.2

特徴

- ・構造材と天井下地材を束材で直接接合することで、準構造化された耐震天井下地材です。
- ・在来天井のような地震時の天井面の振動増幅を抑え、特定天井に該当しない天井設計が可能です。
- ・構造材に対して野縁受が直交方向の直交タイプ、又は、野縁受が平行方向の平行タイプがあります。推奨は、耐力面が有利な直交タイプとなります。
- ・TOUGH CEILING4は、株式会社オクジューとの共同開発品であり、「OSシーリング・SSタイプOJ型」と同工法です。
(設計・施工上の注意事項)

* 特定天井規定の該当可否は、建築主事・確認検査機関にご確認をお願いします。

* 構造材の剛性及び耐力等については、構造設計者にてご確認をお願いします。

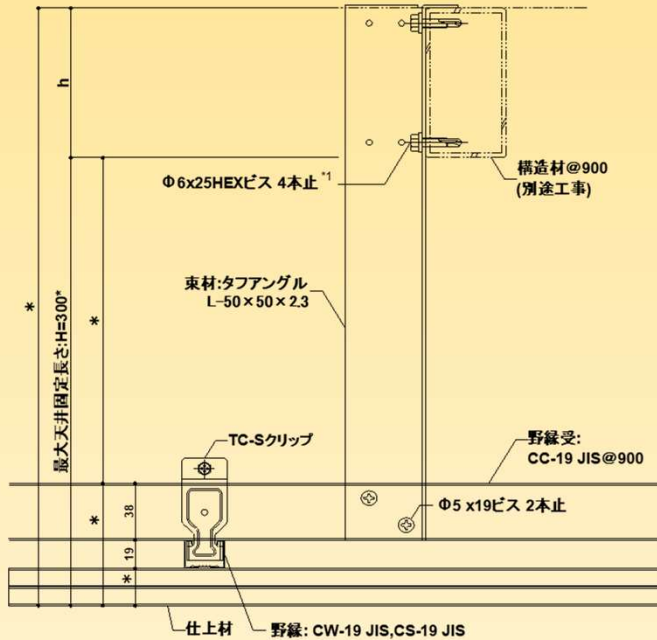
* 当工法の天井固定長さの最大は、構造材下端よりH=300mm以下にてご検討をお願いします。

* 天井重量は20 k g / m²程度まで対応可能です。

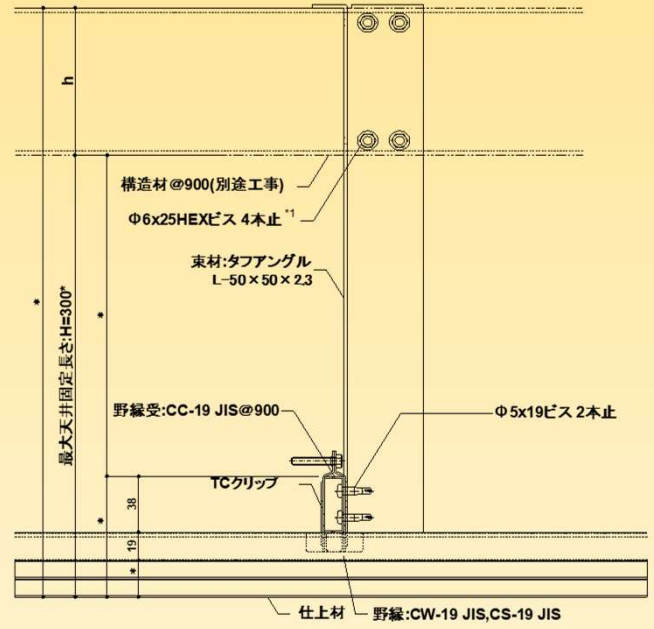


関包スチール株式会社

参考納まり図



野縁受方向



野縁方向

*1) ...タフアングル固定ビスは、原則φ6×25HEXビスとするが、
削孔板厚が6mmを超える場合、それに適合するビスを選定する事。

静的荷重試験

試験結果

(固有周期算定式)

P : 荷重 Δ : 変位 質量 $m = P \cdot 9.80665 \text{ N} / \text{kg}$

ばね定数 : $K = P / \Delta \times 1000$ 固有周期 : $T = 2 \pi \sqrt{m / k}$

構造材方向	損傷荷重 (N)	短期許容荷重 (P)	短期許容荷重時 変位(mm)	短期許容荷重時 固有周期(S) ^{*1}	固有周期 判定 $T \leq 0.1\text{s}$
直行方向	5945	1650N/ユニット	0.99	0.0632	OK
平行方向	2499	(497N/m ²)	1.49	0.0775	OK

(試験体)

- ・ 構造材 : □-100×50×3.2 @900mm
- ・ 天井下地/仕上材 : 19型天井下地/GB-R t12.5
- ・ 天井下地サイズ/天井固定長さ : W1820mm×L1820mm/H=300mm
- ・ 取り付けピッチ : 束材 @900mm 野縁受け @900mm 野縁 @364

* 本試験により天井固有周期0.1秒以下であることを確認しており、構造材との接合部は剛接合です。



関包スチール株式会社

お問い合わせは

- 東京営業部 TEL 03-6225-2846
- 大阪営業部 TEL 06-6449-8811
- 名古屋支店 TEL 052-265-8623
- 広島工場 TEL 082-823-4511
- 九州事業所 TEL 092-931-6513
- 姫路営業所 TEL 079-257-1665
- 金沢営業所 TEL 076-221-7033
- 高松営業所 TEL 087-804-7670